

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	新型コロナウイルスの影響により運営推進会議の開催が進まず、書面開催となることが多い。相互間の意見交換を交わすことが出来る状況が望まれるが、うまく機能しきれしていない。	無理はできないが、可能な限り書面ではなく実際に開催出来る。書面開催となったときや日程的に参加できない時にも意見を反映させられる仕組みがある。	近隣の感染状況を踏まえ、感染対策をとりつつも実際に開催することを目標として準備していく。また、書面開催の場合や日程的に参加できない時の為に、案内文や出欠の確認文の文面にフリーコメント欄を作成し、意見を把握、反映できるように書面の内容を精査する。	4ヶ月
2	10	新型コロナウイルスの影響により面会の制限、地域での活動に制限が生じ、利用者が家族と過ごす時間が減ってしまい、家族からみた利用者の生活様子や家族の知りたい情報が見えにくい環境になっている。	感染症などにより家族と利用者、事業所と家族の間で物理的な距離があったとしても、知りたい情報を気軽に知ることが出来る。	chatworkのような情報共有ツールの活用を進め、内容を精査しつつ賛同いただける家族にも参画頂き、開かれた環境の構築を図る	12ヶ月
3	35	災害は地域全体に影響が出るため施設内での完結では対応しきれない状況が発生する可能性があるが、地域との連携、有事の際の動きが定まっていない。	地域との協力体制が構築され、災害訓練等において連携をとることが出来る。	風の村作草部の拠点として予定されている避難訓練に地域の方を招き、合同での開催を打診していく。	6～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。